

国家資格に合格

香椎工業高校 電子機械科 通信 ④

発行者
学科主任
森山 貴弘



第二種電気工事士 二年生三十四名合格

電子機械科の二年生が国家資格である第二種電気工事士を受験しました。筆記試験は六割以上の正答が必要で、合格した者のみ実技試験を受けることができました。その実技試験に向けて約一ヶ月半、放課後の時間を使って補習を受け、万全を喫して生徒は臨みました。



技能検定「電子機器組立 作業三級」十五名合格

試験時間は四〇分間。課された課題に工具を用いて電線を切断・接続し、欠陥なく完成させなければなりません。合格した生徒は、「緊張したけど、時間内に完成させることができた。」と話しており、国家資格に合格した喜びは格別のようです、嬉しそうに笑顔を見せていました。

技能検定とは、「働く人々の有する技能を一定の基準により検定し、国として証明する国家検定制度」です。その中の「電子機器組立作業三級」は電子機器の組立や修理に必要な知識や技能が求められ、筆記試験と制限時間内に作品を完成させる実技試験があります。

今年の三年生は十六名が名乗りを上げ、夏休みに登校して地道に練習を重ねていました。最初は三時間を要していた生徒が一時間三〇分以内で作品ではなく「製品」を仕上げる気持ちで完成させ、技能士と言える姿になりました。

編集後記

香椎工業高校の強みの一つである資格取得。各学科、特色のある資格試験に取り組んでいます。卒業時には、ほぼ全員が何かしらの資格を取得しており、入社後や将来の武器となり、自信を持って巣立って行っています。人手不足と嘆かれています。産業界で活躍し続ける人財となり、将来の日本を支える技術者へとなっていくことを願っています。